103 アカショウビン　　　　（ブッポウソウ目）　　**兵庫県ランク:B**

Halcyon coromanda

繁殖個体群:B　越冬個体群:無　通過個体群:B

環境省ランク:指定なし

種の概要

亜種アカショウビンは、北海道、本州、四国、九州で夏鳥。別亜種リュウキュウアカショウビンは、沖縄で留鳥。兵庫県では主に4-10月に見られる。渓流のあるよく茂った広葉樹林に生息し、大木の樹洞、朽木、崖地などに営巣する。魚類やカニ類、カエル類、昆虫類など、様々な小動物を捕食する。

写真提供:但馬野鳥の会

国内分布

北海道、本州、佐渡、舳倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、男女群島、種子島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、琉球諸島、南大東島

県内分布　（　)表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(伊丹市)、豊岡市、(西脇市)、篠山市、養父市、丹波市、朝来市、宍粟市、たつの市、香美町、新温泉町　※県内繁殖有

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性(特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	特殊休息・ねぐら環境	局地的繁殖	希少
○	○	○	○		○	○		○	○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

繁殖期には県中・北部の山地樹林帯で「キョロロロロ…」とよく響く独特のさえずりが聞かれるが、個体数は少ない。繁殖の記録もあるが、森林開発に伴い、生息地が減少している。秋の渡去時には、幼鳥が市街地の人家などに迷い込むことがある。

保護上の留意点

山間の発達した広葉樹林と樹林内の渓流沿いの環境の保全が重要。同時に、営巣場所では写真マニアによる繁殖妨害なども懸念されるところがあり、人の立ち入り制限なども必要。